

## 令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立蒲原中学校 校長 菊本 巧

## 1 学校教育目標

- ①健康
- ②明るく楽しく
- ③少しずつ賢くなる

## 2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ①学校図書館を活用し、読書に親しむ意欲を育成する。
- ②学校図書館を活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- ③学校図書館を活用した調べ学習を通して、生徒の課題解決能力を育成する。

## 3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 13551 冊（蔵書基準冊数 13600 冊）／ 蔵書率 99.6%									
	② 新規購入図書 904 冊 / 廃棄図書 671 冊 / 増減冊数 +233 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.5%	3.8%	9.5%	10.1%	9.0%	4.6%	2.8%	9.6%	3.6%	43.5%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間： 12時40分～17時20分									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 6.23 冊（前々年度末： 7.17 冊）									
	③ 学校図書館利用率 683 %（前々年度 639 %）									

## （令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 14127 冊（蔵書基準冊数 12640 冊）／ 蔵書率 111.7 %									
	② 新規購入図書 1073 冊 / 廃棄図書 499 冊 / 増減冊数 +574 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.4%	3.8%	9.1%	10.0%	9.1%	4.5%	2.8%	9.6%	3.5%	44.0%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間： 12：40～17：20 （前年度からの変更 あり・なし）									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 6.48 冊（前年度末：6.23 冊）									
	③ 学校図書館利用率 703 %（前年度末：683 %）									

## 4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①小学校からの読書習慣を継続し、読書に親しむ意欲を育成する。 ②学校図書館を活用した調べ学習を通して、生徒の課題解決能力を育成する。 ③学校図書館の利用の仕方、図書の扱い方を理解する。
今年度の成果目標	達成基準
①休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を利用し、読書をすることができる。 ②図書館の本や新聞等を活用した調べ学習を通して、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。 ③学校図書館の利用マナー、図書館の仕組みを理解する。	①第1学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数 前年度と同数以上 ②読書活動や探究活動の授業を年5回以上実施するクラスの割合 100% ③学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率 100%
目標達成状況	
①貸出平均冊数は前年度と比較して、同数以上であった。 ②総合的な学習の時間を中心として実施し、長期休業中の課題としても実施した。 ③オリエンテーションについては100%の生徒が受講することができた。	

<b>第2学年</b>	①読書習慣を継続し、読書に親しむ意欲を育成する。 ②学校図書館を活用した調べ学習を通して、学校図書やICT機器を使い分けながら、生徒の情報活用能力を育成する。 ③学校図書館の利用の仕方、図書の扱い方を理解し、生徒の規範意識を育成する。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
①休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を利用し、読書ができる。 ②図書館の本や新聞等を活用した調べ学習を通して、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。 ③学校図書館の利用マナー、図書館の仕組みを理解し、必要に応じて学校図書館を活用することができる。	①第2学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数 前年度と同数以上 ②読書活動や探究活動の授業を年5回以上実施するクラスの割合 100% ③学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率 100%
<b>目標達成状況</b>	
①貸出平均冊数は前年度と比較して、同数以上であった。 ②総合的な学習の時間を中心として実施し、長期休業中の課題としても実施した。 ③図書だよりの発行を6回実施することができた。	
<b>第3学年</b>	①読書を通して、自分の考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ②学校図書館を活用した調べ学習を通して、生徒の表現力を育成する。 ③学校図書館のよりよくするための活動を通して、主権者としての素養を育成する。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
①休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を利用し、読書ができる。 ②課題に応じて、図書や新聞等、ICT機器を使い分け、探究活動を進め、調べたことを表現することができる。 ③学校図書館の利用マナー、図書館の仕組みを理解し、必要に応じて学校図書館を活用することができる。	①第3学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数 前年度と同数以上 ②読書活動や探究活動の授業を年5回以上実施するクラスの割合 50% ③学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率 100%
<b>目標達成状況</b>	
①貸出平均冊数は前年度と比較して、同数以上であった。 ②図書、新聞、ICT機器を活用した探究活動の授業について、全クラスが実施することができた。 ③図書だよりの発行を6回実施することができた。	

## 5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

<b>取組計画・方針</b>	<b>成果・効果</b>
<b>【蔵書・配架等に関すること】</b> ①既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を12月までに完了させる。 ②学期末に蔵書点検を行い、学校図書館支援員、各教科担当教員の協力を得ながら、図書資料の更新、廃棄を行う。 ③全蔵書の3割程度について、「3桁分類」への転換作業を完了させる。	①最終発注分の納品が1月末～2月のため、12月中に完了する事はできなかったが、年度内には完了させ、配架した。 ②廃棄候補の選別を行い、計画通り実行できた。 ③約3割転換作業を進めることができた。
<b>【学校図書館支援員との連携・協働】</b> ①学校図書館オリエンテーションの実施やビブリオバトルの実施等、学校図書館支援員、国語科教員との積極的な連携・協働を図りながら、生徒の読書に親しむ心を育てる。 ②各教科の授業において、学校図書館支援員、教科担当者との連携・協働を図りながら、計画的に教科指導を行い、生徒の主体的な学びにつなげる。 ③調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について学校図書館支援員に相談し、積極的に情報交換を行う。 ④図書委員会の活動の充実をはかり、学校図書館支援員、図書委員会担当教員との連携を図りながら、生徒の学校図書館利用の向上に努める。	①1年生のオリエンテーションは教員と相談の上、各クラス1時間ずつ実施できた。また、学級文庫の復活や図書委員によるPOP作成、おすすめ本の冊紙作成など話し合いながら、協働することができた。 ②③調べ学習と連動させながら実施。PCの利点、図書の利点、効果をそれぞれ生かしながら実施する必要がある。 ④委員会の生徒の指導を通して、読書活動への浸透を図った。

### 【その他】

- ①年度末の貸出返却率が 100%となるように取り組む。
- ②「調べ学習用図書」の配送サービスを通して、地域図書館の積極的な活動を図る。

①数名未返却があったが、引き続き返却を促していく。

②魚沼自然教室やSDGsに関する相談を行い、団体貸し出しを依頼した。

## 6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

生徒にとって使いやすい図書館を目指し、本の配置変更等の工夫を図書館司書の教員や図書館支援員を中心に実施した。令和6年度は、読書週間の複数回の実施、貸し出し冊数に学年ごとに目標値を設定する等、生徒が自ら本を手にとるような働きかけを工夫することを一層検討していく。

## 7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

年間を通して図書だよりを定期的に発行することとともに、中央図書館と連携した電子図書体験を通して、保護者の方が図書に興味・関心をもち、家族で本について共通に話題にする機会を増やすことができる。